

令和5年度給食実務校外実習報告会

夏季休業中に実施された「栄養士校外実習報告会」が、9月27日(水)と10月4日(水)の両日に渡って図書館研修室で開催されました。2名の学生が司会・進行を行い、学生自ら運営する報告会でした。延べ14施設での実習報告は、「施設概要」、「実習期間・内容」、「栄養部門の組織」、「実習目標・反省・感想」、「後輩に伝えたいこと」等について、各実習施設の特徴を踏まえ、パワーポイントを利用した分かりやすい発表でした。付属第一幼稚園の栄養士の野原先生にもご出席いただき感謝申し上げます。

今回の報告会では、特に切碎技術、均等に素早い盛り付け、積極的に質問すること等について、保育施設では特にアレルギー対応食に注意を要することが1年生に伝えられました。「大量調理施設衛生管理マニュアル」については特に言及がなく、昨年度の報告会の成果が表れていました。1年生からの質問もあり充実した報告会でした。

1年生は、今回2年生から伝えられたことを踏まえ、日々の授業を大切にするとともに準備をしっかりして実習に臨んでくれると思いま

す。担当の先生方ご指導ありがとうございました。



付属第一幼稚園児を招待しました。

10月30日(月)3・4校時、体育館で行われた「保育内容『環境』の指導法」の授業に、18名の付属第一幼稚園児の皆さんを招待しました。学生たちが、輪投げ、ボーリング、さかな釣り、絵あわせ、的あてなどの各ブースに分かれ、園児たちと一緒に楽しく取り組ませていました。輪投げでペットボトルのピンに輪を入れたり、二つの絵が合ったり、釣り竿に魚がかかったり、アルミ箔の玉が紙コップの的に当たったりすると園児たちは笑顔にあふれ、歓声をあげていました。



非常勤講師の中村先生(前学長)が、平素の教育実践をまとめられ、(公財)日本教育公務員弘済会山口県支部の教育実践研究論文助成に応募され、審査の結果見事優れた論文として、松根理事長から表彰されました。



付属高等学校キャリア教育に参加・説明しました 10月20日(金)

付属高等学校のキャリア教育で、栄養健康学科から吉村准教授と芳賀助教、保育学科から藤井准教授と前田講師がそれぞれの学科について説明しました。「栄養士」の資格や日々の食事の栄養素について、朝食での納豆や豆腐・油揚げ入りのみそ汁にカルシウムが多く含まれていることが分かりました。また、前田先生の美声に生徒たちの大きな拍手が起こり、リズムの実践も楽しそうに活動していました。

